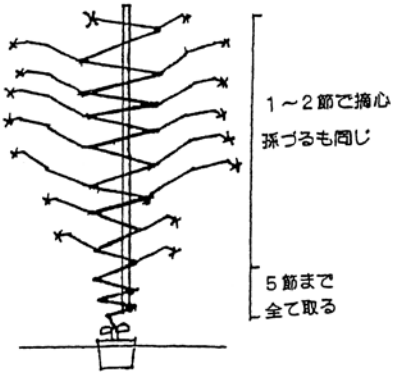
品目名 きゅうり

品種と作型	作型＼月	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	露地栽培		種まき ○△	定植 ×		収穫 ■■■■■■■■				
				○△	×	■■■■■■■■				

摘要

・品種
・夏すずみ（スーパー雲竜）
　南極Ｉ号（光パワー）
・栽培密度
　条間150cm　株間75cm
　89株／ａ
・栽培のポイント
　①肥切れさせない
　②整枝や摘果を適期に行う。
　③病害虫防除は予防重点で実施する。

主要管理	栽培の要点	留意事項
畑の準備	・かん水に便利で排水・日当たりのよいほ場を選ぶ。 ・定植１ヶ月前までに堆肥・改良資材を施用し、深耕する。 ・定植の10～14日前までに化成肥料を施用し畝立てする（間口６ｍ　ハウス４畝）。 ・定植７～10日前までにマルチをする。	・転作田では、ほ場周辺の明渠を必ず設置し、排水をする。 ・施肥例（kg／ａ） 資材名　基肥　追肥 堆肥　600 苦土石灰　15 ＢＭようりん　6 セラマイティーＲ１号　20 液肥（追肥）　5
定植	・定植前に植え穴に十分かん水する。 ・本葉2.5枚の若苗を浅植えする。	
整枝	・親づる１本仕立てとし、主枝はネットの八分目で摘心する。 ・５節以下の子づるは摘除し、６～８節までの子づるは１節、その他の子づると孫づるは２節で摘心する。 ・８節以下の果実も摘除する。	・整枝方法 
摘葉	・老化葉や陰をしている主枝の葉を順次摘除する。 ・週２回、１回当たり１～２枚を除く。	
追肥	・収穫始めより生育を見ながら液肥で追肥する（２～３kg／ａ）。	
かん水	・開花始めより開始し、収穫量と天候に応じ増加する。 ・１回当たりのかん水量は10～15㎜程度を目安とする。	
病害虫防除	・初発時の早期防除を徹底する。 ・同じグループの薬剤の連用を避け、ローテーション防除に努める。	・病害虫防除 べと病　ダコニール1000 うどんこ病　アミスター20フロアブル 褐斑病　スミブレンド水和剤 疫病　ジマンダイセン水和剤 ウリハムシ　コテツフロアブル アブラムシ類　アドマイヤー水和剤 ハダニ類　ダニトロンフロアブル